

植物

市民の森で2011年11月までに観察した植物は、草本類209種、木本類129種です。そのうち、草本類110種、木本類85種を本書62ページからの「市民の森の植物ガイド」で写真付きで紹介します。

きのこ

秋の楽しみはやはりキノコです。観察会、森づくり講習会でもいろんなキノコを見つけ大喜びします。

しかし、キノコは素人判断は禁物です。食べられるかどうか、専門家に確認してからにしましょう。



ハナビラタケ



ツチグリ



カワラタケ



スエヒロタケ



タマゴタケ



ホコリタケ

きのこは植物だと思いませんか。いいえ、違うのです。

きのこは菌類として動物、植物と別に分類されています。

菌類は、植物や動物の体を作る複雑な物質(有機物)を分解して、もとの単純な物質(無機物)に戻す働きをされると言われています。そして、その無機物を植物たちが栄養として根から吸収して成長していきます。今はやりの**物質のリサイクル**です。

森の中で倒れた木が土にかえるのは、小動物と菌類の働きによっています。

我々が目にするきのこは、それぞれの菌が子孫を残す胞子を排出するための器官なのです。きのこたちも、森で大切な役割を担っています。